

第5学年 学級活動（3）

題材「見つめよう自分の役割」

～自分の成長と周りの役に立つこと～



令和元年6月26日

授業者：藤沢 佑

＜自発的・自治的な活動を充実させる工夫＞

事前調査の提示

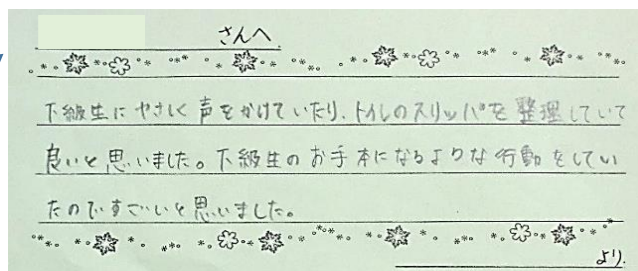
身近な将来の姿である6年生の思いを知ること、学校のために働くことの意義を感じたり、自分ならどうしたいかというイメージを広げたりすることができ、自発的な活動に繋がります。さぐる段階で6年生の思いを整理し、「学校での役割は多いが、多くの6年生が前向きな思いで取り組んでいる」ということ知り、5年生としてできることはないかというめあてにつなげていくようにします。

＜自己肯定感・自己有用感を高める工夫＞

互いのよさの可視化

児童が自分達で決めて取り組んだことについて、「やってよかった」というやりがいや有用感につなげるため、「いいねカード」を活用します。

いいねカードは、クラスの友達が学校の役割を頑張っていた際に「いつ、どこで、だれが、何をがんばっていたのか」を児童同士で記入し、学級活動コーナーに掲示します。児童同士で評価し合いながら、互いのがんばりを見える形で掲示していくことで、自己有用感につながっていきます。また、このいいねカードは学級の児童同士だけでなく、他の教員や6年生の児童にも書いてもらいます。そのことで、他者に感謝されることを実感したり、学校のために働くことの意義を感じたりします。



＜自発的・自治的な活動を充実させる工夫＞

評価の工夫

本題材のねらいである、学校での自分の役割や、協働することの意義とずれてしまうことがないように、自分が学校のためにできることを考える際に、「いつでも、どこでも、だれでも、学校のため」にできることという視点を提示します。この視点を提示することで、自発的に考えを整理し、本題材のねらいに沿った個人の目標を決めることができます。

